

令和3年度第1回大府市ふれ愛サポートセンター運営委員会議事録（要点記録）

開催日時 令和3年8月11日（水） 10:00～11:30

開催場所 ふれ愛サポートセンター 多目的ルーム1～3

出席者 ※敬称略

有料老人ホームさわやかなの丘 施設長	中 隆之
大府福祉会あけび苑 管理者	平林 政明
北山民生児童委員協議会 会長	富田 重金
大府リフレッシュクラブ	下村 洋子
校長会代表	籠島 篤司
公募委員	西脇 直美

事務局	福祉部 部長	猪飼 健祐
	福祉総合相談室 室長	小清水 崇
	子ども未来課子ども支援係 係長	久野 倫太郎
	学校教育課学校総務係 係長	深谷 雄紀
	レインボーハウス	蟹江 修
	大府市高齢者相談支援センター	山根 一郎
	大府市障がい者相談支援センター	竹内 美喜
	ふれ愛サポートセンター 館長	大河内 憲
	主任	松原 睦

傍聴人 なし

1 市長あいさつ

2 自己紹介

3 委員長、副委員長の選出

委員長 中 隆之委員 副委員長 平林 政明委員

4 議題

(1) 利用登録団体の申請、審査結果について

—資料No.1に基づき事務局より説明—

—質疑なし—

(2) コロナ禍における貸館ルールについて

—資料No.2に基づき事務局より説明—

—質疑応答—

委員：現在のルールの運用を始めてから集団感染等は発生していないか。

事務局：スピカ内では発生していない。

委員：利用者に協力いただくことが多いと思うが、実際の実行状況はどうか。

事務局：予想以上に協力いただけている。自粛期間で館が使えない間に利用者自身も知識を蓄えてくださったようで、利用前の検温や利用後の消毒等しっかり行っている。

委員：利用者の名簿の作成を依頼しているが、ワクチン接種の有無は名簿に記載されているか。

事務局：名簿の様式は任意となっている。接種の有無の記載については検討材料とさせていただきます。

(3) 令和2年度の利用実績について

—資料No.3に基づき事務局より説明—

—質疑応答—

委員：昨年は新型コロナウイルスの影響で前年に比べて利用者数等かなり低いが、今後の利用者数等もこの数値で想定しているのか。

事務局：稼働率自体は例年と変わらないと思われるが、一度に利用できる人数が制限されるため、利用人数は減ると予想される。

委員：利用人数を制限している関係で、回数を増やすという話は団体としたか。

事務局：今のところ、回数を増やすという話は出てきていない。

委員：館内の各機関の相談実績について、高齢者相談支援センターの相談件数が一昨年に比べて倍近く増えており、虐待防止センターとの連携件数も増えている。一般的にコロナの影響で家庭内でのDV、虐待が増えていると耳にするが、それが原因なのか、それとも機能の充実によって増えているのか。

事務局：様々な要因があると思う。高齢者相談支援センターの相談件数については、コロナ禍で来所数は減ったが、電話での相談が増えている。コロナ禍で友人づきあいが減って、高齢者相談支援センターに相談されるケースも。また、来館相談であれば一度で済むところが、電話だと複数回かかることも件数増加の一因と思われる。

高齢者相談支援センターと虐待防止センターの連携件数について、虐待件数自体が数十件なのでその年の傾向に左右されるものではあるが、昨年度は高齢者相談支援センターと連携して動く、比較的介護度の低い高齢者の事例が多かった。

委員：貸館の時間別の稼働率についてはどうか。団体の話にはなるが。

事務局：こちらから夕方の時間帯を勧めはするが、難しい。15時半から17時半ま

で利用している団体も1つある。

委員：すごく混雑することが良いかと言うと、今の情勢からすると悩ましい。大府市で運営している建物なので、使われていない部屋をなるべく少なくはした方が良いとは思いますが。

委員：市としてスピカの稼働率をどれくらいまで目指しているのか。公民館とは違って利用される人間が偏っていることもある。稼働率の基準値等検討していただけないかと思う。

委員：貸館において、「高齢者」とは何歳以上を指しているのか。

事務局：65歳以上を対象としている。

(4) 令和3年度の利用実績について

—資料No.4に基づき事務局より説明—

—質疑応答—

委員：ここ3か月と同じ状況が今後も続いていくと思われるか。

事務局：議題(2)でも申し上げた通り、スピカは厳しく感染対策をしており、貸館ルール等は緊急事態宣言宣下時から継続しているため、引き続き同じ状況が続いていくと思われる。

3 その他

—福祉総合相談室の役割について、資料No.5に基づき説明—

—部長あいさつ—

—以上—